

21世紀文明への震災からの教訓 東北青年ミーティング

[日時] 平成 23年12月26日（月） 14:00 – 17:00

[場所] 東北大学川内北キャンパス A棟307教室

[趣旨] 東日本大震災からの復興に向けて文化の果たす役割や、震災によって明らかにされた社会の課題について「異なる世代間の公正を求めて」取り得る可能な解決方法を探り、次世代の希望に満ちた未来を描く観点から、「21世紀文明への震災からの教訓」について若手世代の意見を聴取し、世代間の意識共有と議論進化を進めるため、近藤誠一・文化庁長官による基調講演、学生の意見発表、パネルディスカッションを行います。

14:00-14:10

開会挨拶

東北大学理事 根元 義章

14:10-15:10

基調講演 「3. 11大震災から何を学ぶか」

文化庁長官 近藤 誠一

15:10-16:00

学生による意見発表

東北大学医学部 3年

高橋 舞 【東北地方太平洋沖地震～津波被災地の土壌は今～】

東北大学理学部 4年

飯嶋 耕崇 【3.11津波の特徴と津波堆積物研究の展望】

東北大学経済学部 4年

吉田 美里 【被災地での援助の限界とコミュニティの可能性】

東北大学農学研究科
博士後期課程 3年

神山 梓 【女川町における復興まちづくりへの取り組み】

東北大学工学部 4年

柴田 佳和 【震災復興における新エネルギーの可能性】

休憩

16:15-16:50

パネルディスカッション(近藤長官、意見発表学生)

16:50-16:55

講評

東北大学 高等教育開発推進センター

芳賀 満

16:55-17:00

閉会挨拶

東北大学 高等教育開発推進センター長

木島 明博

学生の皆さんの参加を歓迎します。申し込み不要・当日参加可

基調講演者 ■近藤誠一(文化庁長官)

東京大学教養学部卒業。昭和47年外務省入省。在米国日本大使館参事官、同公使、外務省経済局総務参事官などを経て、外務省経済局審議官、OECD(経済協力開発機構)事務次長、外務省広報文化交流部長、国際貿易・経済担当大使、UNESCO(国連教育科学文化機関)日本政府代表部特命全権大使、駐デンマーク特命全権大使、平成22年7月より文化庁長官。
文化庁長官のサイト → <http://www.bunka.go.jp/commissioner/index.html>



【主催】文化庁 【協力】東北大学高等教育開発推進センター

【問合せ先】文化庁長官官房 国際課 03-6734-3110 東北大学教育・学生支援部 教務課 022-795-7536